

平成24年度

事業報告書

一般財団法人 阪大微生物病研究会

一般財団法人 阪大微生物病研究会 平成24年度 事業報告

平成24年度事業については、事業計画に則り、学術助成事業、研究事業、検査事業及びワクチン事業を以下のとおり実施した。

・ 学術助成事業

- 1) 大阪大学微生物病研究所並びに同付属施設に於ける研究へ助成した。
- 2) 大阪大学大学院医学系研究科及び大阪大学免疫学フロンティア研究センターへ奨学助成した。
- 3) その他当会に関連のある大学及び研究機関へ奨学助成した。
- 4) 国内外の研究者へ谷口奨学金を交付した。
- 5) 国際協力
JICA 委託による開発途上国のワクチン品質管理担当者を対象とする、WHO 認定の第26回ワクチン品質管理技術コースを開催した。

・ 研究事業

- 1) 「細胞培養法ワクチン実生産施設整備等推進事業(厚生労働省)」にかかる新型インフルエンザワクチンに備えたプロトタイプワクチンの開発については、実施した第 / 相臨床試験に於いて、想定した有効性の結果が得られなかつた。
このため、当初の計画通り事業を完遂するのは困難な状況と判断し、開発方針を変更して新たにワクチン開発を行うこととした。
- 2) 弱毒生麻しん風しん水痘混合ワクチン(MR-V)の研究開発を実施した。
- 3) 「小豆郡における帯状疱疹発症の大規模疫学研究(厚生労働科学研究費補助金政策創薬総合研究事業)」を実施し本年度で終了した。
- 4) 外部の研究機関及び企業等との共同研究体制を構築した。

- 5) 次世代ワクチン研究開発のための組織体制の推進を検討した。
- 6) その他ワクチンに関する研究開発を実施した。

・ 検査事業

- 1) 臨床検査等による地域住民の健康維持に寄与した。
- 2) 水質検査等による地域環境対策に寄与した。
- 3) 「がんプロフェッショナル養成プラン(文部科学省大学改革推進事業)」へ参加協力した。
- 4) 遺伝子検査を併用した子宮頸がん検査を実施した。

・ ワクチン事業

- 1) 「新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備事業(厚生労働省)」にかかる「細胞培養法ワクチン実生産施設整備等推進事業」(観音寺研究所瀬戸センター建設 期工事)については、ワクチンの開発方針を変更したことから、国に対して助成金を全額返納し、自己資金のみで細胞培養法ワクチン実生産設備を整備した。
- 2) 沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン「テトラビック」の製造販売承認を取得しワクチンの供給を開始した。
- 3) WHO 及び IFPMA 等の国際会議への積極的参加、特にパンデミックインフルエンザに対するワクチンの国際的な供給体制へ参加協力した。
- 4) インドネシア国ピオファルマ生物製剤公社及び中国上海生物製品研究所へのワクチン製造技術指導を行った。
- 5) 瀬戸センターへの原液及び製造施設の一部移転の検討を行った。

- 6) ワクチンセミナーを開催し市民への啓発活動を実施した。
- 7) 製品の安全性・有効性の分析評価体制確立を目的とした信頼性保証計画の策定に着手した。
- 8) 人体用弱毒生ウイルス製剤ワクチン、不活化ウイルス製剤ワクチン、細菌製剤ワクチン及び動物用(魚病)ワクチン等生物学的製剤及び生物活性物質を製造・供給した。

国内用ワクチン

インフルエンザHA ワクチン「ビケンHA」、「フルービックHA」、「フルービックHA シリンジ」、乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」、乾燥弱毒生麻疹風疹混合ワクチン「ミールビック」、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン「ジェービック V」、沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン「トリビック」他

海外輸出用ワクチン

水痘ワクチン他

動物用(魚病)ワクチン

イリド不活化ワクチン、イリド・レンサ混合不活化ワクチン及びイリド・レンサ・ビブリオ混合不活化ワクチン

プレパンデミック備蓄用沈降インフルエンザワクチン(H5N1株)の製造(原液及び小分け)を行った。